

# 鳥インフルエンザ防疫措置への対応

## ～建設業協会の御尽力に感謝～

県土整備企画室

2月下旬に金ケ崎町で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。

一般社団法人岩手県建設業協会をはじめ、市町村や民間企業からの御支援や御協力をいただきながら防疫措置を行ったことにより、感染の拡大防止が図られました。

建設業協会による使命感をもった昼夜を問わない運搬・埋却作業の結果、迅速に防疫措置が完了し、岩手の主要産業である養鶏業を守ることができました。御尽力に感謝いたします。

地域の建設業は、県民の安全・安心な暮らしの「守り手」であることから、今後も建設業の必要性・重要性について、広報活動に取り組んでいきます。

- ▶ 採卵用成鶏の殺処分羽数：約56万羽
- ▶ 2月21日：殺処分を開始 → 3月3日：殺処分鶏等の埋却終了、防疫措置完了
- ▶ 従事いただいた岩手県建設業協会奥州支部：延べ380人

